

中学生・高校生 自転車の安全な乗り方 指導者ガイド (事故事例研究パターン)

ねらい	中学生・高校生の生徒は、通学や部活動等での移動、休日の外出等で、自転車を利用する機会が増えます。「中学生/高校生・自転車(事故事例研究パターン)」の項目では、生徒に「自転車の交通違反・事故の一例」「そのような事故を回避して安全に通行する方法」を動画で理解させるだけでなく、「交通ルールを知っていても違反してしまっている理由は何か」「どうしたらその問題を解決し、安全に行動できるようになるのか」についても考えさせ、行動の変容・安全の実践を促し、自転車乗車中の事故防止を図ります。
場面	この指導者ガイドは、以下の場面を使用した学習に対応しています。 1. 見通しの悪い交差点の通行
備考	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 場面ごとに、「危険予測」「事故再現」「正しい通行方法」の3本の動画が用意されています。 ▶ 動画を視聴した後、ワークシートを使用して意見を書かせることで、自ら考える学習ができます。

学習の進め方(展開例)

内容・手順	留意点
<p>【準備】</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 実施方法について検討する <ul style="list-style-type: none"> ● 学校で実施：1台の端末で「交通安全オンライン教室」にアクセスし、映像をプロジェクター・モニターへ出力したものを視聴するか、生徒に配布した端末で個々にアクセスさせる ● 自宅で実施：生徒に「交通安全オンライン教室」のURLを案内しておく ※この展開例では学校での実施を想定 ▶ 実施する場面(テーマ)を選定する ▶ ワークシートに手書きで回答させたい場合は、あらかじめワークシートのPDFをダウンロードし、生徒数分を印刷しておく 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ Wi-Fiへの接続等、インターネット環境を確認しておく ▶ 個々にアクセスさせる場合は、当日スムーズに開始できるよう、事前にURLの共有・接続方法等を確認・検討しておく ▶ 場面は特定の一つに絞っても、複数の場面を連続して実施してもよい ▶ ワークシートを使用せず、意見を考えさせて発言させる方法でもよい
<p>【導入】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 自転車で道路を通行する際はさまざまな危険があり、交通事故の被害者となる可能性だけでなく、他人に損害を与えて加害者となってしまう場合もあることを説明し、事故に遭わない・起こさないためにどうするか考える時間であることを理解させる。 2. 動画を使用して学習するが、受動的に観るだけではなく、考え(意見)を聞く時間もあることを説明する。 3. 必要に応じて、基本的な交通ルールや中学生・高校生が自転車乗用中に多い事故、学校近辺での事故・ヒヤリ事例について説明する 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 場面は特定の一つに絞っても、複数の場面を連続して実施してもよい ▶ 自転車は車の仲間(軽車両)であることも説明する ▶ 交通ルールや事故についての座学パートは、学外の専門者に依頼してもよい
<p>【学習】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. これから観る交通場面について、概要を説明する 2. 「事故再現」を視聴する 3. ワークシートの問1について考えさせる(この事故の原因は、何でしょうか?) 4. 代表者を指名し、考えた意見を発表させる 5. 次に観るものは「先の事故について、どのような場面だったかの確認」であることを説明する 6. 「状況確認」を視聴する 7. ワークシートの問2について考えさせる(安全に交差点を通るには、どうすれば良いのでしょうか?) 8. 代表者を指名し、考えた意見を発表させる 9. 次に観るものは「先の動画で観たような場面における正しい通行方法の確認」であることを説明する 10. 「正しい通行方法」を視聴する 11. ワークシートの問3について考えさせる(ルールは知っていたのに、正しい走り方をしなかった)ことでこの事故が起きたのだとしたら、正しい走り方をしなかった理由はどのようなものだと思いますか?) 12. 代表者を指名し、考えた意見を発表させる 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 「小さな街中の道路ですね」「交差点ですが信号はありますか？」等、具体的にどのような場所なのかを分かりやすく説明し、想像させる ▶ 1回の再生だけでは伝わりづらい場合、状況を説明しながらもう一度再生してもよい ▶ 代表者に発表させる場合は、時間があれば何名かに発言させ、共通する意見や、特徴的な意見が出た場合はそれに触れてもよい ▶ 「状況確認」については、「自転車側が一時停止をしないで(違反があつて)飛び出したこと」「バイク側には一時停止がないうえに、飛び出されてしまうと回避が困難であること」にも触れる ▶ 問3は、建前や正しいことではなく、「自分自身がこのような危険な行動をしてしまったら、どのような理由か」を考えるよう伝える

内容・手順	留意点
13. ワークシートの問4について考えさせる（「正しい走り方を知ってはいるけど、やらない」を防ぎ、事故に遭わないようにするためには、どうすれば良いと思いますか？） 14. 代表者を指名し、考えた意見を発表させる	▶ 問4は、問3で考えた「自分自身がルールに違反した危険な行動をしてしまう理由」を踏まえて、「どうしたらその理由(問題)を解決して、安全な行動を取れるのか」について考えさせ、建前や正しいことではなく、「本当に自分自身が納得して、気をつけようと思った、実践できること」を考えるよう伝える
【まとめ】 ▶ 学習内容を振り返り、自転車に乗る際に実践するよう伝える	

各場面の内容詳細

場面(テーマ)	動画で発生する危険	指導のポイント
1. 見通しの悪い交差点の通行	(事故再現/状況確認 共通) 1. 一時停止のある交差点を、飛び出したところ、右からきた車とぶつかる (正しい通行方法) 1. 停止線の手前で一時停止すると、右からバイクが来る	▶ 一時停止のある交差点では、絶対に飛び出さず、必ず停止線の手前で一度止まる ▶ 建物や塀・生垣等がある場所では、停止線の位置では左右から車等が来ているか分からない場合もあるため、一時停止した後は少ずつ前を出て、左右が見えるところで再度停止し、左右・前後の安全を確認する ▶ 一時停止のある交差点では、交わる道路には一時停止がないことが多く、一時停止をせずに飛び出すと相手は回避が困難である



こちらから「交通安全オンライン教室」の動画ページにアクセスできます
(中学生)

<https://ts-online.jatras.or.jp/contentgroup/3>



(高校生)

<https://ts-online.jatras.or.jp/contentgroup/4>